

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）



年長・年中クラスだよ！

2023年9月26日(火)

文責 吉留 亜季

自分たちでできること

9月1日は、年長児の2回目のお泊り保育でした。今回は全員で参加することができ、また、1回目の経験が2回目への期待と繋がり、1回目以上に楽しんでいました。

家族と離れ、自分たちで必要なことはあ、自分たちでしていく。子どもたちにとっても思い出に残るいい経験になったのではないかと思います。年中児は「年長さんになったらいけるの？」とわくわくしています。1つ1つの行事を大切に、子どもたちにとってかけがえのないものにしていきたいと思います。



「先生たちは入らないで！！」～子どもたちからのサプライズ♪～

先日、昼食の準備をしようと保育室に入ろうとしたときのことで。この日は、先に昼食をとり、昼食後に午睡の予定でした。すると突然子どもたちから「部屋に入らないで！」と言われたのです。最初は何かあったのかと思ってびっくりしたのですが、子どもたちは笑顔でドアを閉めていたり、年長児が中心となって年中児や年少児に声をかけているのを見て、子どもたちの想いに気づきました。

しばらく廊下で待っていると、「先生！目を閉じてきて～！」と言われ、目を閉じたまま保育室に入り目を開けると、そこには子どもたちがした昼食の準備できていました。驚く私たち大人の反応を見て、「びっくりした！」「すごいでしょ??」得意げな様子の子もたち。自分たちでできることに喜びを感じて実践する様子に、改めて子どもたちの成長を感じた1場面でした☆

「葛藤を乗り越えて」 ～見せたいもの 伝えたい思い～

運動会の競技の一つにクラス対抗リレーがあります。リレーが好きな子、競争が楽しい子たちがいる中、走るのが苦手な子、お友達に見られると緊張する子、負けるのが嫌な子、気持ちが向かない子などいろいろな思いを抱えている子どもたちがいます。これまでも何度か、リレーをすると途中で止まってしまったり、涙がでたり・・・年中組の子どもたちは初めての経験ということもあり、うまくいかないことも多いでした。その度に子どもたちと励ましあったり、気持ちを聞いたりしてきました。

先日、笠木小学校の校庭をお借りしてリレーをやってみる機会がありました。初めての環境で1度目はバトンを落としたり、バトンをもらっても走り出すのに時間がかかったり・・・それでも「もう一回したい！」という子どもたち。苦手な子どもたちがどうしたら気持ちが向くのかを考え、一緒に走る相手を選んでもらうことに。すると、2回目は見事にバトンをつなぐことができ、苦手だった子どもたちにも笑顔が見られました。

リレーだけでなく運動会で見ていただく競技の背景には、子どもたち努力や葛藤、笑顔がたくさん詰まっています。一人一人のその努力や葛藤や笑顔の成果、「できるようになったよ！！」を温かく見ていただけたらと思います。



お知らせ

- ・10月8日(日)は運動会です。当日子どもたちと保護者の方々が元気に出席してきてくれるのを心から待っています。十分な睡眠と朝ごはん、水筒の準備をお願いします。
- ・10月20日(金)は、お弁当の日です。年長児は高千穂の峰登山となります。お忙しいとは思いますが、お弁当(保冷バックに保冷剤と一緒に入れてください)水筒、シート、お手拭き、年長児はタオルの準備をお願いします。
(登山については、後日詳しいお手紙を配布いたします。)

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀 解決責任者 園長 假屋 由美子

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)